

# THE DAY



## NEWS LETTER

2024 / 10 / 1 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを読んでもらえる皆さん

2024年10月1日

このレターを皆さんが受け取られる頃には、涼しくなっていることを願っています。

その後、皆さん元気にしておられるでしょうか？皆さんが心身ともに元気にしておられることを心から願っています。

しかし、いつかは、この身は古びてなくなります。しかし、イエスの言葉（永遠の命の約束）は決してなくなることがありません。真理であるその希望を知らずして人生が終わる？それは、絶対耐えられないことです。絶望です。人は、そのようにこの世を去っては、絶対いけません。イエスの愛を頂いて、全ての罪を赦されて、天国での永遠の命の希望をもらって、この世を去って、天国へ行くべきです。人は、そのためにも造られたのです。それは、神の恵み！正に、Amazing Grace!

「死んだような枝でも また芽吹く 春には  
夜の後に朝が来 闇は消え去る  
この身は朽ち果てても また生き返る  
神の言葉の証 今 胸に見た」

(歌：「胸に見た」より)

### 森繁昇ゴスペル・ライブ @K-wave

神戸のハーバーランドにあるライブ・ハウス、「K-wave」で、11月9日に、一般の場所では初めてのライブを計画しました。以前からそのよう

な場所でライブをする願いがあったのですが、今回、「それではー！」と実行に!!

教会とは全く関係のない私の友達や知人の方々も来やすいし、また、私のことを全く知らない人も来てくださることを願って。教会の人も、家族や友達を誘って来ていただきたい。「永遠の命の望みである良い知らせ・ゴスペル」を、一人でも多くの人に聞いていただきたい。そして、知っていただきたい。

「ゴスペルの、お知らせ係、宣伝係」それが私です。

聖書にこうあります。

「人は、心に（イエスを）信じて義（神の前に正しい）と認められ、口で告白して救われるのです。

聖書はこう言っています。『彼（イエス）に信頼する者は、失望させられることがない。』

ユダヤ人とギリシヤ人（外国人）との区別はありません。同じ主（救い主イエス）が、すべての人の主（救い主）であり、主（救い主イエス）を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあられるからです。

『主（救い主イエス）の御名を呼び求める者は、だれでも救われる』のです。

しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることもできるでしょう

う。宣べ伝える人がいなくて、どうして聞くことができるでしょう。遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。……

そのように、信仰（イエスを知って信頼すること）は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」

（ローマ人への手紙 10：10～17）

そのように、私は、救い主イエスの宣伝係に任じられたものです。

「わずかな この世での命の中で

人が知るべき良い知らせを聞きました

すべてを創られた神様の愛を

ここは 人生の途中の道の駅」

（歌：「道の駅」より）

**私の全CDの全曲がスマホで聴けるようになりました。**

私のホームページ [thedaywill.com](http://thedaywill.com) で検索して、ホームページの song をクリック。全てのCDとテープが表示されます。それぞれのCDまたはテープをクリックしたら、それらに入っている全ての歌が出ます。

歌だけのと歌詞付きの両方で聴けます。リストの上から、新しい順番に載せています。

それと、私の毎月のニュースレターとライブのスケジュールも見れます。

どうか、皆さんに紹介してください。よろしくお祈りします。

## 西成救霊会館

西成市民館でのコンサートを計画してくれたF兄弟を通して、あいりん地区にある救霊会館を紹介してもらい、9月11日にそこでイエス様を歌わせてをもらいました。5時から始まる会の前に、96歳になる榮一仰牧師夫妻に会いました。今、まだ現役で、あいりん地区の多くの人々の救いのためにイエス様に仕えておられる。小柄な榮牧師

はニコニコしながら私と握手してくれました。

「森繁昇と申します。今日、ここでイエス様を歌わせてくださることをありがとうございます」

もし御心で、私が96歳になったら、私も彼のようにイエス様を伝えさせてもらいたい。イエス様、よろしくお祈りします。救霊教会では、毎日、夕方、地域に住んでいる方々に食事を出していますが、食事を出す前に、神の愛、イエスが下さる永遠の命の希望をその方々に聞いてもらっています。

話はちょっと戻りますが……

私は救霊会館のことはこれまで全くと言っていくらい知らなかったのですが、9月8日にコンサートをした春日井市の教会のT牧師さんと会った時に救霊会館の話が出たのです。なんと、T牧師さんは、25年？くらい前、彼が牧師をしていた東大阪にある教会に私を呼んでコンサートをしたと言われたのです。エーッ?? そのことを何も覚えていない私！ タマゲター！ その時のコンサートの場所や、様子を聞いているうちに、少し思い出しました。生駒山の大阪側、近鉄石切駅の近くで、線路に沿った狭い通りに直ぐ面した家の、細い急な階段を登った記憶が少しある。それ以外は何も覚えていない。エッ？ どうしょう？ T牧師は1973年に生駒にある聖書学校を卒業し、当時、救霊会館でもイエス様を伝えていたことを話してくれました。それを聞いて、私たち家族が1984年に1年間、生駒に住んでいたことを話しました。すると、お互いに知り合いだった当時生駒で労していたアメリカやニュージーランド、また、オーストラリアからの宣教師の方々の話になって大いに盛り上がりました。そして、そこで働いていたアメリカからの宣教師カートさんが救霊会館を始めたことを聞きました。

私たちが生駒に住んだのは、もう40年前！ ゲーッ！ 私は、当時のことを思い出していました。そこで出会ったニュージーランドからの宣教師ノエル・モーリスさんが私を、カナダの宣教師のド

リス・バッドさんに紹介してくれました。バッドさんと一緒に労していた人たちは、当時バッドさんが持っていた手製の録音スタジオで、イエス様を伝えるラジオ番組を作っていたのです。その時私は、それまで山口の実家の近くでやっていた高水キリスト教会に来ていた子供達のために書いた歌を録音して、そのテープを子供達に配りたいと願っていました。そのことを話すと、バッドさんは、「どうぞ、スタジオを使ってください」と快く言ってくださり、そして、一番初めのテープ「Soon」ができたのです。このことが、歌を通してイエス様を伝える働きの初めでした。そのことを考えていると、これまでの働きは全て、イエス様の導きによって、イエス様の恵みとあわれみの中で進ませてもらったことを、あらためて確信しました。長い旅路を来させてもらいました。でも、まだ、これからです!! イエス様、よろしく願います。

### イエス様は、誰にも等しく語られる、ご自分の愛を!

「ここ、あいりん地区の人たちに、私は、どうやって、イエス様のことをわかってもらおう? どう説明したらいいん? ここは特別な場所だよ。」

そんな思いが私の心に来ました。

「天と地の全てのものを創られた創造主の神様がおられて、その神様があなたを愛しておられる。その愛を人にわかってもらうために、神様はご自分のひとりの子イエス様を、人としてこの世に送り、人として十字架につけ、私たちの罪のために、代わりに罰したのです。そして、その三日後に、イエス様を死人の中から生き返らせたのです。だから誰でも、神様に対する自分の罪を悔いて、イエス様の身代わりの愛を、『ありがとう』と、心に受け取るなら、その人の全ての罪が赦され、この世での命が終わったあと、天でよみがえり、イエス様と一緒に、永遠に生きるのです。」

それを、どうやってわかってもらおう?

「そのままを言ったらいいんじゃない?」

### バーベキューと聖書を読む会 「自分で聖書を読んでみる」

「いったい聖書には何が書いてあるのだろう?」  
私は、その願いが人の心に起こってほしいと願って、この会を始めました。「聖書に何が?」

私自身、聖書を読み始めた理由は、大した動機ではなかった。実際、聖書の神を信じているというクリスチャンをバカにしていた気持ちや、敵対していた気持ちが私にはあった。その後、「彼らを正気に戻してやろう」みたいな、その時まで持っていた気持ちが、ある意味、彼らを気遣う気持ち、あわれむ心に変わっていったのかもしれない。同年くらいの彼らと同じ家に2~3ヶ月も一緒に住んでいれば、ある程度仲良くなり、一緒に遊んだり食べたりする時もあった。「おまえが彼らにやられたんじゃないのか?」「やめてくださいよ!」

私はどんな宗教も思想も、哲学と言われるものも（哲学に関しては何も知識はありませんでしたが……）大嫌いで、私は自分が思うように、やりたいように生きる、人生をどのように生きていくかということに関して、誰の影響も、また、宗教や考え方には影響されたくない!!という、自分しか頼らない強い思いを持っていました。私は、それが当たり前で、他の人もそう考えていると思っていました。その私が聖書を読んだ理由は、「私の心の変遷」にも書きましたが）「この本の中にバカなことが書いてあるところを見つけて、それを彼らに見せて論議し、彼らの間違いに気づかせてやろう」そのようなものだったのです。誰が考えても、創世記1章1節を正気で真剣に考えるなんてあり得ないですよ。しかし、その後、半年ぐらい経って、私はクリスチャンになりました。

「おまえ、やっぱり、あいつらにやられたんだね! ははは……」

そうではなかったのです。クリスチャンになっ

ても、私の宗教嫌いはそのまんま。人からの影響やグループ意識なんかで、自分を変えるなどは、自分の人生を自由に生きたい強い願いと、その頃持っていたプライドが許さないのです！

言葉もわからない中で、私に「本当なら、知りたい」という願いが始まりました。

長くなりましたが、私が言いたかったことは、何かを知ることに関して、それが何であっても、「真理（本当のこと）を知るのは、それについて、まず、聞くことからです。まず、読むことからです。」私は、そのことのために歌を書いて歌うようにと、イエス様から役割をもらった者です。

長い話になりましたが、それで、「バーベキューと聖書を読む会」につながるのです。気の遠くなるような話しでしたね（笑）。でも、どうか皆さん、まず一人で聖書を読んでみてください。読んでみたい方には聖書を差し上げます。連絡してください。そして、尋ねたいことがあったら聞いてくださいね。「バーベキューと聖書を読む会」は、イエス様の恵みと助けによって続けさせてもらう計画です。

## 最初で最後

以前からもそうでしたが、特に去年の春、髪を染めることをやめてから、鏡で自分の顔を見る時、よくこの歌を思い出します。「これが最初で最後かもしれない」と。その気持ちでコンサートを一生懸命やらせてもらいたい、とイエス様に励まされるのです。イエス様、どうか聞いてくださる皆さんの心に語ってください。よろしくお願いします。

これが最初で最後なら 君に何を歌おう  
二度と会うことがないなら 何を君に歌おう  
大地を駆けた若い日々か？  
労苦に耐えた日々か？  
雨に濡れて歩く朝か？  
泣き明かした夜か？  
限りあるこの世での 命果てる時も  
望み絶えることのない歌を 君に歌おう  
(歌：「最初で最後」より)

*Noboru Morishige*

## 11/12月のLIVE Information

11月、12月のライブの予定です。会場で皆さんに会えるのを楽しみに待っています。

11月 9日	神戸煉瓦倉庫 K-wave	神戸ハーバーランド (JR 神戸駅より徒歩 8分)	078-361-7717
11月 12日	名古屋高等学校		
11月 13日	名古屋中学校		
11月 17日	溝口キリスト教会ウインディ・チャペル	神奈川県川崎市高津区下作延7丁目	11-12 044-811-3235
11月 30日	新里チャペル	群馬県桐生市新里町新川	527-1 0277-47-6049 (八町)
12月 7日	奥座敷でクリスマス・ランチョン	大阪府阪南市箱作	2879-58 070-6680-0842 (辻井)
12月 8日	いずみホープチャペル	大阪府和泉市肥子町2丁目	6-24 (JR 和泉府中駅) 0725-46-8113
12月 15日	水口キリスト福音教会	滋賀県甲賀市水口町古城が丘	4-31 0748-62-5933

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24  
FAX▶ 0833-91-6492  
E-mail▶ thewindisblowing@hotmail.com  
振替口座▶ 01330-4-93687 ザ・デイ

HP / thedaywill.com

Noboru Morishige  
P.O.BOX 1666  
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A  
TEL ▶ 808-966-9252

